

かがやき



Contents

Photo: 浦河高校写真部提供

- P1 ◆ 職能委員会紹介
保健師職能・助産師職能
- P2 ◆ 保健師・助産師職能集会報告
- P3 ◆ 看護師職能
看護師職能集会報告
- P4 ◆ 教育委員会活動報告
支部企画研修参加者の声

【発行】公益社団法人 北海道看護協会日高支部
【編集責任者】支部長 木下 淑子
【発行日】令和6年12月25日



職能委員会紹介・活動内容

保健師職能委員会

主な活動

1. 保健師職能集会開催(年1回)
◇令和6年10月12日(土)
◇場所:新ひだか町ピュアプラザ
2. 委員会の開催(年3回)
3. 支部職能委員長会議
◇令和6年7月12日 出席



保健師職能委員長 原田 千恵利

保健師職能委員会は、石井病院の訪問看護ステーションの米沢委員、日高町役場の三浦委員、静内保健所の原田の3名で活動しています。今年度は、助産師職能委員会と合同で職能集会を開催いたします。合同職能集会の企画・打合せを行う中で、小児看護に当たっている助産師職能の実態や医療的ケア児に関わることになった際の当惑した現状などを聞き、日高地域での医療的ケア児の支援を看護職が一堂に学べる機会として開催いたします。医療的ケア児の支援経験がなくて不安、手技に自信がない、家族・きょうだいへの支援はどうしたら良いかなど多くの不安・疑問があると思います。

北海道全域で医療的ケア児を支えている講師から、この日高地域でできることを一緒に考え、学んでいきましょう。看護職全体で考える機会としたいと思いますので、是非、ご参加ください。

令和6年度 保健師・助産師合同職能集会
日高での医療的ケア児の支援を考える

日時 令和6年10月12日(土)
10時00分～12時30分(開場9時30分)

場所 新ひだか町地域交流センター ピュアプラザ セールズ室2
(住所:新ひだか町静内南町2丁目1番40号)

講師 医療法人相生会 生涯医療クリニックさっぽろ
院長 川村 健太郎 氏

内容 講師「医療的ケア児の支援について(仮題)」
・医療的ケア児の支援の実態
・親生会 医療的ケア児等支援センターの機能
・地域の看護職(地域の医療機関・行政保健師・訪問看護)に求められること

小児の在宅支援は経験がない
日高で支えていくのははたして
保健師ができることって何だろう? 医師・まより先生の活躍は?

…という声援が、今年度の職能委員会は医療的ケア児者からなりました。
人材や経験:思いあふれる日高地域で、医療的ケア児を支援するために、
一緒に考えましょう。
日高地域の保健師・助産師 看護職が集まれる場が少ない機会です。
看護職の交流を深めましょう!

申し込み方法
①Googleフォーム [こちら](#)より申し込み
②お電話 野村ら事務 保健師・助産師合同職能委員会事務局まで
FAX 0142-81-4747まで
申し込み締め切り 10月4日(金)

助産師職能委員会

主な活動

1. 助産師職能集会開催(年1回)
◇令和6年10月12日(土)
◇場所:新ひだか町ピュアプラザ
2. 委員会の開催(年3回)
3. 支部職能委員長会議
◇令和6年7月12日 出席



助産師職能委員長 藤田 咲良

日高で安心・安全に出産し子育てができるよう「母子のための地域包括ケア病床」を推進するべく産後ケア事業に力を入れ活動して参りました。特に今年度は病院と保健センターとの会議を重ね、日高で出産し子育てしたいと母子とご家族に感じてもらえるよう産後デイケアや宿泊型産後ケアを提供できるよう活動しています。

さらに助産師数減少に伴いマンパワー不足が指摘されていますが助産師の技術・知識の向上にむけて母体救命の研修会へ参加や毎月看護師への勉強会やシュミレーション開催など実施し少人数だからこそそのチームワークが発揮できるよう活動しています。

左から 野久助産師、藤田助産師



保健師・助産師職能集会

主な活動

令和6年10月12日（土）

テーマ：「日高での医療的ケア児の支援
を考える」

講師：医療法人稲生会障害医療クリニック院長

川村 健太郎 医師

保健師職能委員長 原田 千恵利

10月12日に日高支部保健師・助産師合同職能集会として、看護師を含めた全看護職を対象として開催しました。参加者は、保健師15名、助産師3名、看護師10名で総数28名でした。

今年度は「日高での医療的ケア児の支援を考える」をテーマに、医療法人稲生会 生涯医療クリニック院長の川村健太郎先生を講師に迎え、医療的ケア児の支援の実際や稲生会医療的ケア児支援センターの機能等を学び、グループワークでは、地域で看護職は何か出来るかを話し合いました。

アンケートからは、「医療的ケア児の事例に関わる機会は少ないため、講義・情報共有とともにとても学びとなりました。つながりを大切にしていきたいと思います。」と講義やグループワークを通じて、医療的ケア児の現状、支援、関わり等全般にわたり、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。

また、「看護師といえども働いている所のちがいで、働き方や役割が違うため知ることの大切さがある。役割をリスペクトしながら協働していけるようになりたい。」と職場や働き方、看護の職の違いを超えて、顔を合わせて話し合いができたことを多くの看護職が貴重な時間だったと感じていただけました。



職能委員会活動報告

看護師職能委員会

主な活動

1. 看護師職能集会開催(年1回)

◇令和6年10月5日(土)

◇場所:新ひだか町公民館

テーマ「オーラルケアについて」

～看護師は歯がいのち～

講師:沖津 正尚氏

2. 委員会の開催(年3回)

3. 支部職能委員長会議

◇令和6年7月12日 出席

第Ⅰ領域 末田 祐美子

第Ⅱ領域 加藤 強

看護師職能第Ⅱ領域委員長 加藤 強

看護師職能委員会は、主に病院で働く看護師を対象としている領域Ⅰと、介護施設・福祉施設・在宅医療など病院外で働く看護師を対象とした領域Ⅱに分かれています。勤務状況は違っても看護師職能が目的としているところは一緒で、看護の質を向上させるために、労働環境の整備や人材の確保、育成を目指している委員会です。年に4回の委員会を開催し、日頃現場で起きている問題を意見交換しながら、メインイベントである看護師職能集会の企画運営を行っています。これまでのテーマをみると、看護師としてのスキルアップの内容「看護倫理～ACP～」 「診療看護師の活動」や、看護師としての健康管理に関わる内容「背骨コンディショニング」「腸から整える心と体」など、時流に沿った興味を刺激するものであったと振り返ります。また、これらの活動を進めてこられたのは、会員皆様のご協力のお陰であり、領域Ⅰ・領域Ⅱの委員が一体となって楽しく前向きに取り組んできた成果であると心から思います。これからも皆様へ還元できる企画を取り進めて参りますので、活動へのご支援ご協力、宜しくお願いいたします。

参加者の声

1. 看護師職能集会開催(年1回)

◇令和6年10月5日(土)

◇場所:新ひだか町 公民館

「オーラルケアについて」

オーラルケアについての講演を受講させて頂きました。講師の沖津正尚先生のお話はとても興味深い内容でした。人の健康を維持するにはオーラルケアが大切であることを痛感しました。看護していくうえでも、自分自身の健康を維持していくためにも、手を抜いてはいけな思いました。口腔粘膜の保護にアズノール軟膏が良いということを知り参考になりました。今後のケアに活かしていきたいと思ひます。

浦河赤十字病院 福田 康子



教育委員会

主な活動

1. 支部企画研修(年1回)
令和6年7月6日(土)
場所:新ひだか町 ピュアプラザ
2. 支部担当研修会(年1回)
令和6年9月7日(土)
場所:新ひだか町 ピュアプラザ
3. 看護研究発表会
令和7年2月15日(土)
場所:浦河町総合文化会館
4. 委員会の開催(年3回)

教育委員長 松本 幸代

今年度も会員の皆様のご協力をいただき、2つの研修会を終えることができました。7月の支部企画研修「摂食嚥下ケア」では、食事時の体位や口腔ケアの重要性、低栄養や嚥下機能の評価法など知識だけではなく、実習からすぐ実践できる技術も学びました。また9月の支部担当研修では、社会の多様な変化に伴い、揺れ動く医療の現場について考えさせられた「看護の動向」、普段慣れない動きをすることで脳の活性化を図る「シナプソロジー研修」では、講師の「スパイス!」→「アップ!」を合い言葉に題名通りの笑顔あふれる楽しい研修となりました。来年2月には看護研究発表会を予定しています。教育委員会では、日高管内で皆様が希望する研修を行うため、研修会のアンケートなどを基に委員内で活発な意見交換が行われています。今後も活動にご協力をお願いいたします。

参加者の感想

支部企画研修 7月6日

「食べたい」をかなえる!

現場でできる摂食嚥下ケア

今回の研修で、嚥下機能、嚥下時の姿勢、口腔ケアの重要性について学びました。実際の演習を通して、口の中のどこの位置で飲み込みや咀嚼を行っているのかを知り、患者の食事介助における注意点を理解することができました。また、口腔ケアは、口腔の機能の維持・向上により低栄養を予防し免疫力向上に繋がることを知り、患者のQOLの向上を目指す中でとても大事なケアであることを改めて実感しました
日高徳洲会病院 吉本 綾

普段何気なく行っている口腔ケアの重要性を再認識することが出来ました。増粘剤の使用についても検討し、学んだことを活用していきたいです。機材トラブル等大変だった中、講師の打越先生並びに役員の皆様ありがとうございました

医療法人社団静和会石井病院 渡辺 誠

摂食嚥下ケアについての基礎を再確認する事が出来、患者様との「食べたい」を叶える為に、口腔機能評価を大切にしていきたいと想いました。日頃からできる事を1つずつ継続していく事を心掛けたいです
日高町立門別国民健康保険病院 白川 実季

